

事業報告書

団体名	大鷹沢郷土愛好会
代表者役職・氏名	会長 菊地 久
事業名	「冊子による文化財保護と普及啓蒙活動」
実施した事業の内容 ・ 活動内容 ・ 実施日時 ・ 場所 ・ 参加人数 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 冊子「ふるさと 大鷹沢の史跡読本」650部を作成し、令和3年7月～8月に、大鷹沢地区の全戸に配布。また、一部官公所にも配布しました。さらに、地区住民に関係する方々から、冊子の要望が多々あり全部数を配布しました。 ○ 作成した冊子を元に、大鷹沢地区民文化祭の期間中（11月3日）に大鷹沢公民館に於いて、「阿保原地蔵堂とその周辺」と題して文化講演会を開きました。予定人数は50名でしたが聴衆された方は60名 ○ 11月8日、大鷹沢小学校の児童38名と引率教員で学校周辺の史跡巡り〔阿保原地蔵堂と金華山碑（倉田耕之進の筆跡）、孝子堂、さらに、大聖寺、文珠堂〕を行い説明しました。当初の予定参加人数は41名でした。 ○ 令和4年2月27日、大鷹沢第11区自治会第5班（横根）の役員会（11区集会所）で陽善寺について説明。役員全員8名
事業の成果や効果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 冊子を配本したら、すぐ反響という事はありませんでした。しかし、徐々に「大鷹沢には色々な史跡があるのには驚いた、また、時間があれば史跡などを巡ってみたい・・・等々」区民の間に文化財に対して、興味が出始めたことは確かです。 ○ 大鷹沢小学校の児童38名には、地元大鷹沢に多くの文化財や歴史を、少なからず心に刻まれた事と思料されます。 ○ 講演会の席では、当時口内病の信仰神だった阿保原地蔵堂に驚き、特に今は宝篋印塔在るのみの陽善寺については、全く知らなかったという声が多くありました。
今後における事業展開	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今回の最大の目的は、配布した史跡読本を代々に読んで頂き、大鷹沢の歴史や先達の文化を再認識し、次世代に語り継いで頂き、そして新しい文化の構築に役立てほしい。 ○ この様な活動を通して、埋もれている言い伝えや歴史を緋き、さらには遺跡・神社・仏閣等の保護支援（清掃など） ○ 三沢城や大町城（館）の整備・保善などの後方支援 ○ 文化的遺産が多く、自然環境の良い大鷹沢に住み、また、市内外から多くの方に来て頂き、大鷹沢を堪能してほしい。